

1 単元(題材) はなや やさいを そだてよう

2 教科の目標

植物を観察する際の視点を知り、植物の成長の様子を自分なりの方法で表現することができる。

3 活用したICT

電子黒板 デジタルカメラ

4 活用したICTの特性

- ・ 成長前後の植物の写真を連続的に提示したり、成長前の植物の姿をタッチペンでなぞり、成長後の姿をタッチペンの線を残したまま提示したりすることで、成長前後の様子を具体的に比べることができる。(電子黒板)
- ・ 子どもの植物の成長前の様子を記録し、成長後の様子と比べることができる。(デジタルカメラ)

5 実践の様子

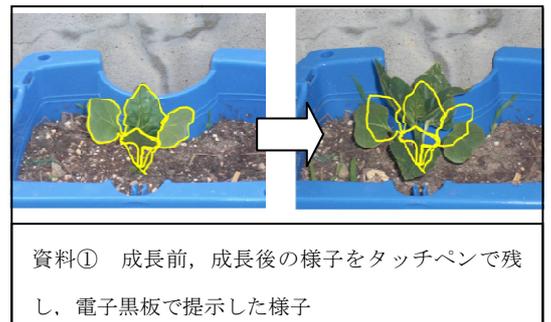
- ① 教師が電子黒板で成長前後の植物を提示した後、どのように変わったか、話し合う。

成長前の植物から、成長後の植物に写真が切り替わった瞬間、「あれ?なんか大きくなった」とつぶやいた子どもが数人いた。さらに、成長前の植物の姿をペンでなぞり、線を残したまま成長後の写真を切り替えると「分かった」

「すごい変わってる」というつぶやきが多数聞かれた。手まねで、大きくなったことや、伸びたことを表現していた子どももみられた。「線からはみだした」という発言に始まり、「葉っぱが大きくなった」「葉っぱがいっぱい増えた」「茎が長くなった」「色が濃くなった」「葉っぱの場所が変わった」「葉っぱが太くなった」など、「～が～した」と、成長の様子を自分なりの言葉で表現することができた。

- ② 成長後の植物の様子を成長前の写真と比べて記述する。

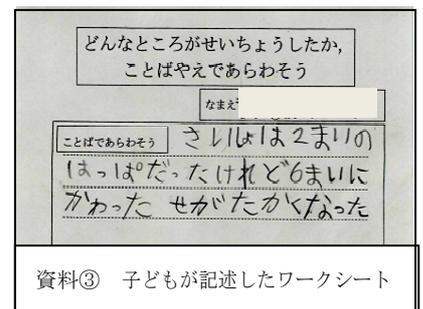
実際の植物と成長前の植物の写真を熱心に見比べている様子が多く見られた。「葉っぱが2枚から6枚になった」「茎が紫色になってきた」など、具体的にまとめることができる子どもがたくさんいた。言葉でまとめると、それが絵にも表れ、葉の大きさや数、色に違いを意識して絵をかくことができた。最初はなかなかワークシートにまとめられなかった子どもも教師が問い掛けると、「横が広がった」「ちょっと緑になった」とワークシートにまとめることができた。ほとんどの子どもが「～が～になった」と植物の成長を表現することができた。



資料① 成長前、成長後の様子をタッチペンで残し、電子黒板で提示した様子



資料② 成長後の様子を成長前の植物の写真と比べて記述する子どもの様子



資料③ 子どもが記述したワークシート

6 実践の成果と今後の課題

- 成長前後の違いをタッチペンを使って書いた線で比べることで、漠然と植物が成長したと感じるのではなく、「～が～になった」と具体的に表現することができた。
- 成長前の植物の写真を用意することで、植物の成長を実感し、成長の様子を具体的に記述することができた。
- 成長の様子をまとめることはできたが、それを友達に分かりやすく伝えることはできなかった。